

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1276 号	氏 名	鈴木 暢彦
論 文 審 査 担 当 者		主査教授	進藤 裕幸
		副査教授	下川 功
		副査教授	上谷 雅孝
論文審査の結果の要旨 1 研究目的の評価 本研究は 特発性大腿骨頭壊死症の病因を解明し治療法の開発を視野において動物モデルの作成をめざすもので、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 脳卒中易発症高血圧自然発症ラットの寿命に近い 40 週齢ラットを用いて、steroid 投与により、脂質代謝ならびに組織学的に大腿骨頭壊死の病期別病変の発生頻度や骨頭壊死病態を正常群と比較検討したもので研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、脳卒中易発症高血圧自然発症ラットに好発する大腿骨頭壊死と steroid 性大腿骨頭壊死症の骨壊死の発生機序においては異なる点もみとめられ、steroid 性大腿骨頭壊死症の病因解明に新たな示唆を示すもので、ヒト大腿骨頭壊死症の動物モデルの確立、ひいては本症の病因解明、発症予防に向けての進展が大いに期待される。 以上のように本論文はヒト大腿骨頭壊死症の病因・病態解明の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			